

# 自己評価結果公表シート（令和3年度）

学校法人育保学園 バンビーニくまのだ

## 1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるよう環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

## 2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

## 3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・保育者の資質の向上
- ・保育環境の充実と危険箇所
- ・保護者対応と家庭との連携

## 4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
○保育者の資質の向上 ・一人ひとりの子どもの成長に沿ったねらいを職員間で共有する ・自園や自己の役割を見つめ課題を見つける。又、研修に積極的に参加する ・子どもの姿や成長について保護者が理解を深める機会を作る。	・ミーティングや職員会議等で子どもの様子を伝え合い話し合う事ができ、一人ひとりの子どもとの関わり方を知る見直す事で、新たな子どもの姿を発見できた。又、一人の子どもについて課題を見い出し関わる事で、子どもの成長に繋げることができたので今後も引き継ぎ行っていきたい。 ・自己チェックリストを元に学期毎に職員一人ひとりが目標を決め、自身の保育に対して日々反省や改善を継続してきた事で保育の向上に繋がったと思う。 ・自園で職員一人ひとりの役割を自分で考えるだけでなく、保育者同士でも話し合う事で目標や課題が明確になり、具体性を持って行動に繋げる事ができた。今後も継続していきたい。 ・研修内容の情報を職員内で共有する為、研修の内容を回覧するだけでなく職員会議等で議題に上げ職員全員に共有する為勉強会を行う事で保育に繋げられたと思うので今後意識していろいろな分野の研修を受講できるようにしていきたい。 ・登降園時の担任だけでなくいろいろな保育者が保護者に子ども様子を伝える事で、成長について話す機会も増え、保護者、保育者間で子どもの成長を喜び合う機会になった。
○保育環境の充実 ・子どもの成長に沿った環境を整え心身共に継続的、発展的に遊ぶ。 ・身近な自然に触れる機会を作る	・戸外遊びについて、定期的・週替わりで環境を変えていく事で、体を動かす遊びや自然物を使ったままごと遊び等、いろいろな遊びを取り入れ楽しめた。又、遊びについて毎日のミーティングで反省や子どもの姿を話し合う事で、改善点や危険箇所等を伝え合い、翌日の遊びに繋げられた。 ・室内環境で子ども達が一つ一つのコーナー遊びを楽しむ事ができ、保育者やクラスによって環境にはらつきがあるので、職員会議やミーティングで環境変えた際は必ず他のクラスにも伝え改善点等話し合う機会を作った事は良かった。
○コロナ禍における安全管理 ・新型コロナウィルス感染防止対策の実施と環境整備。	・玩具や施設の消毒チェックリストを作る事により全職員が意識し、日々感染対策に取り組む事ができていた。感染状況によって、玩具の種類を変更したり、保育室の利用方法を変更したりした。

## 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・保育者の資質向上 ・保育環境の充実 ・子育て支援	・教育保育環境ガイドラインを活用し日々の子ども達の遊びや環境を振り返り、課題や改善点を見つけ、実際の保育に繋げていく。ガイドラインに沿って遊びや環境を見直す。 ・外部の研修や園内研修等、様々な分野の中で特に自分が苦手とする分野の研修には、積極的に参加をする。 ・子どもの姿や成長について保護者の方の声に耳を傾け寄り、添えるようにする。 ・子ども一人ひとりの遊び様子を見ながら、子どもの成長に沿った遊びの環境を整えると共に、継続して遊び事で更に遊びが発展できるよう援助していく。 ・身近な自然を観察したり、植物を育てたり、いろいろな生き物に触れたりする事で、自ら興味や関心が持てるようにする。 ・引き続き感染対策をしながら、園庭開放の実施や保護者同士の交流、保護者と職員の会話や、子育て相談ができる場所を設ける。